

川崎病断層心エコー検査体制全国調査

3群治療剤フォローアップ小委員会

藺部 友良 (日赤医療センター小児科)
浅井 利夫 (金沢医科大小児科)
原田 研介 (日本大学小児科)
多田羅勝義 (東京女子医大第2病院小児科)

顧問

草川 三治 (東京女子医大第2病院小児科)
柳川 洋 (自治医科大公衆衛生)
川崎 富作 (日赤医療センター小児科)

【目的】

川崎病患者の治療・管理上、断層心エコー検査と冠動脈造影検査は必須であり、この点をふまえて診断の手引きの改訂が行なわれた。しかし全国的に見て、両検査がどれ位実施できるかは、今までに調査されたことはなく、不明であった。そこで単に実施状況を知るばかりでなく、今後の川崎病の治療・管理基準の作成、学童心臓健診における川崎病心後遺症発見の為のシステム作りなどの種々の提案を作成する際の参考にするために、断層心エコー検査を中心とする全国調査を施行した。

【対象及び方法】

川崎病全国調査対象病院を対象に、第8回川崎病全国調査の際に質問状(図1)を同封して、アンケート調査を行った。回答時期は昭和60年1月であった。

【結果】

小児科を併設する100床以上の病院2,315ヶ所中の約62%にあたる1,427病院より回答を得た。回答病院の小児科病床数と小児科常勤医数との組合せを図2に示す。各都道府県別の病院数ならびに小児科病床数を図3に示した。各都道府県別断層心エコー及び冠動脈造影検査可能病院数(図4)を見ると断層心エコー検査は779病院(55%)で、冠動脈造影検査は239病院(17%)で可能であった。断層心エコー検査は各地域最低2施設以上で、冠動脈造影検査は、7県において1施設、他は2施設以上で実施していた。断層心エコー検査の実施できない519病院中の73%にあたる377病院が特定の検査依頼病院を持っていた。断層心エコー検査施行者の分類を見ると、小児科常勤医が59%、非常勤医が12%で、残りは他科の医師、検査技師であった。第8回川崎病全国調査で得られた都道府県別の断層心エコー検査施行状況を図5に示した。急性期以後に初めて検査を受けたものを含めて、総患者数15,933例中の95%にあたる15,093例が本検査を受けていた。都道府県別にみても特定の地域差は存在しなかった。川崎病患者数と断層心エコー検査可能病院の組合せから考えると川崎病患者の約80~85%が急性期に反復して検査を受けていることが推定された。

【結 語】

全国の断層心エコー検査の現状を把握するために、第8回川崎病全国調査の際アンケート調査を行った。予想外に本検査は普及しており、全国どの県でも検査可能病院が2施設以上あり、患者の95%が検査を受けていたことが判明した。川崎病患者児のために今後数的のみならず質的にも検査体制が益々充実して行くことが望まれる。

【謝 辞】

本調査に御協力いただいた各施設に厚く感謝致します。

図 1 質 問 状

施設に関する質問

1. 貴院のベッド数はいくつですか

病院全体 床 小児科 床
(一般病棟のみ)

2. 貴院の小児科医は何人ですか

常勤医 人 非常勤医 人

3. 冠動脈造影検査で貴院で行っていますか

1. はい 2. いいえ

4. 川崎病児が入院したら急性期経過中に反復し、貴院で断層心エコー図検査
ができますか

1. はい 2. いいえ

↓

↓

どなたが検査しますか

断層心エコー図検査を依頼する決められ
た病院はありますか

1. 小児科常勤医
2. 小児科非常勤医
3. 他科の医師
4. 検査技師

1. ある
2. ない

差し支えなかったら施設名
を記入して下さい

図 2 小児科病床数と小児科常勤医数

小児科病床数	計	小児科常勤医数								
		0	1	2	3	4～6	7～9	10～19	≥20	不明
計	1,427	197	369	289	163	213	43	44	43	66
1～1	219	13	151	46	7	2	0	0	0	0
10～24	385	10	116	152	68	35	4	0	0	0
25～49	339	3	10	49	61	136	22	31	27	0
50～99	74	4	3	7	8	25	10	6	11	0
100～199	24	1	3	4	2	5	3	3	3	0
≥200	4	0	1	0	0	1	1	0	1	0
不明	382	166	85	31	17	9	3	4	1	66

図 6 患者数と断層心エコー検査可能病院数

患者数	断層心エコー検査			
	可能	不可能	不明	計
1. なし	118	234	102	454
2. 1～9人	263	218	12	493
3. 10～19人	154	45	6	205
4. 20～29人	101	13	4	118
5. 30～39人	52	7	3	62
6. 40～49人	29	0	1	30
7. 50～74人	35	2	1	38
8. 75～99人	14	0	0	14
9. 100人以上	13	0	0	13
10. 計	779	519	129	1,427

図 3 都道府県別病院数と小児科病床数

都道府県名	計	回答病院の小児科病院数						
		1～9	10～24	25～49	50～99	100～199	≥200	不明
全 国	1,427	219	385	339	74	24	4	382
1 北海道	95	9	35	14	5	3	0	29
2 青森	22	3	5	4	1	0	0	9
3 岩手	25	2	13	5	0	1	0	4
4 宮城	29	6	9	7	1	0	0	6
5 秋田	21	0	8	5	1	0	0	7
6 山形	15	2	7	3	0	1	0	2
7 福島	33	7	8	6	2	2	0	8
8 茨城	21	2	7	4	2	0	0	6
9 栃木	17	1	3	2	2	0	0	9
10 群馬	22	0	5	10	2	0	0	5
11 埼玉県	29	6	9	4	1	0	0	9
12 千葉県	39	7	8	8	2	2	0	12
13 東京都	134	22	32	36	5	1	0	38
14 神奈川県	78	8	23	21	1	2	1	22
15 新潟	35	11	12	6	3	0	1	2
16 富山	18	7	4	5	1	0	0	1
17 石川	28	10	8	5	0	1	0	4
18 福井	12	2	3	1	4	0	0	2
19 山梨	16	2	3	4	0	0	0	7
20 長野	25	2	5	7	4	1	0	6
21 岐阜	27	7	7	5	1	0	0	7
22 静岡県	38	4	8	17	1	0	0	8
23 愛知県	63	9	18	14	3	0	0	19
24 三重	25	5	6	8	0	1	0	5
25 滋賀	17	4	3	8	0	0	0	2
26 京都府	33	4	9	7	4	0	0	9
27 大阪府	90	15	22	25	9	2	1	16
28 兵庫県	54	4	25	11	2	0	0	12
29 奈良	10	1	4	4	0	0	0	1
30 和歌山	13	2	5	4	0	0	0	2
31 鳥取	11	2	2	3	1	0	0	3
32 島根	14	2	4	1	2	0	0	5
33 岡山	31	6	3	7	1	1	0	13
34 広島	37	9	13	7	1	0	0	7
35 山口	24	1	3		1	0	0	12
36 徳島	17	3	2	5	0	0	0	7
37 香川県	17	3	3	3	0	0	0	8
38 愛媛	20	6	4	3	1	1	0	5
39 高知県	19	4	3	4	0	1	0	7
40 福岡	48	5	13	14	5	2	0	9
41 佐賀	14	2	2	1	1	1	0	7
42 長崎	24	5	7	3	0	1	0	8
43 熊本	24	2	6	5	1	0	0	10
44 大宮	10	3	1	2	0	0	1	3
45 宮崎	10	1	1	2	1	0	0	5
46 鹿児島	11	0	4	2	2	0	0	3
47 沖縄	12	1	0	10	0	0	0	1

図 4 都道府県別断層心エコー及び冠動脈造影検査可能病院数

都道府県名	計	エコー検査			造影検査		
		可能	不可能	不明	可能	不可能	不明
全 国	1,427	779	519	129	239	1,100	88
1 北海道	95	45	36	14	9	78	8
2 青森	22	7	11	4	3	17	2
3 岩手	25	6	18	1	1	24	0
4 宮城	29	13	13	3	7	21	1
5 秋田	21	11	8	2	3	17	1
6 山形	15	9	6	0	4	11	0
7 福島	33	17	14	2	6	26	1
8 茨城	21	9	10	2	4	15	2
9 栃木	17	8	4	5	2	12	3
10 群馬	22	14	6	2	1	20	1
11 埼玉	29	14	10	5	3	23	3
12 千葉	39	13	18	8	5	27	7
13 東京都	134	68	49	17	33	89	12
14 神奈川県	78	50	22	6	14	60	4
15 新潟	35	23	12	0	7	27	1
16 富山	16	12	5	1	5	13	0
17 石川	28	18	10	0	3	25	0
18 福井	12	6	6	0	3	9	0
19 山梨	16	13	3	0	3	13	0
20 長野	25	17	7	1	3	21	1
21 岐阜	27	16	9	2	4	21	2
22 静岡県	38	24	9	5	5	29	4
23 愛知	63	43	17	3	15	46	2
24 三重	25	15	9	1	3	22	0
25 滋賀	17	11	6	0	3	13	1
26 京都	33	19	13	1	5	28	0
27 大阪	90	55	32	3	15	72	3
28 兵庫県	54	34	17	3	9	45	0
29 奈良	10	5	5	0	3	6	1
30 和歌山	13	6	4	3	2	9	2
31 鳥取	11	4	7	0	1	10	0
32 島根	14	8	4	2	1	12	1
33 岡山	31	17	11	3	4	23	4
34 広島	37	20	14	3	5	29	3
35 山口	24	10	13	1	2	21	1
36 徳島	17	6	8	3	3	13	1
37 香川	17	14	2	1	5	11	1
38 愛媛	20	11	8	1	3	16	1
39 高知	19	7	11	1	3	15	1
40 福岡	48	29	14	5	13	33	2
41 佐賀	14	6	3	5	1	10	3
42 長崎	24	13	8	3	2	20	2
43 熊本	24	12	7	5	3	16	5
44 大宮	10	4	6	0	1	9	0
45 分崎	10	2	7	1	2	8	0
46 鹿兒島	11	4	6	1	1	9	1
47 沖縄	12	11	1	0	6	6	0

図 5 都道府県別断層心エコー検査実施状況
(急性期以後の初回検査例を含む)

都道府県名	患者数	断層心エコー検査の実施人数			実施率 (%)
		あり	なし	不明	
全	15,933	15,093	670	170	95
1. 北海道	918	859	50	9	94
2. 青森	144	129	14	1	90
3. 岩手	169	143	22	4	85
4. 宮城	320	294	22	4	92
5. 秋田	175	146	28	1	83
6. 山形	141	137	4	0	97
7. 福島	242	201	38	3	83
8. 茨城	354	344	4	6	97
9. 栃木	267	253	11	3	95
10. 群馬	280	250	29	1	89
11. 埼玉	367	349	11	7	95
12. 千葉	685	674	10	1	98
13. 東京都	1,692	1,623	43	26	96
14. 神奈川県	1,318	1,240	68	10	94
15. 新潟	284	257	24	3	90
16. 富山	184	184	0	0	100
17. 石川	183	172	5	6	94
18. 福井	112	109	2	1	97
19. 山梨	97	92	3	2	95
20. 長野	392	376	13	3	96
21. 岐阜	269	256	9	4	95
22. 静岡	606	584	18	4	96
23. 愛知県	645	618	26	1	96
24. 三重	230	224	6	0	97
25. 滋賀	133	131	2	0	98
26. 京都	312	306	2	4	98
27. 大阪	827	769	36	22	93
28. 兵庫県	719	697	19	3	97
29. 奈良	133	128	4	1	96
30. 和歌山	172	164	7	1	95
31. 鳥取	173	167	5	1	97
32. 島根	43	43	0	0	100
33. 岡山	248	236	7	5	95
34. 広島	392	387	4	1	99
35. 山口	184	166	17	1	90
36. 徳島	129	122	7	0	95
37. 香川	137	135	2	0	99
38. 愛媛	257	251	5	1	98
39. 高知	149	120	29	0	81
40. 福岡	735	713	12	10	97
41. 佐賀	91	78	11	2	86
42. 長崎	184	172	12	0	93
43. 熊本	189	179	10	0	95
44. 大分	154	140	4	10	91
45. 宮崎	183	180	3	0	98
46. 鹿児島	136	127	1	8	93
47. 沖縄	179	168	11	0	94



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



〔目的〕

川崎病患者の治療・管理上、断層心エコー検査と冠動脈造影検査は必須であり、この点をふまえて診断の手引きの改訂が行なわれた。しかし全国的に見て、両検査がどれ位実施できるかは、今までに調査されたことはなく、不明であった。そこで単に実施状況を知るばかりでなく、今後の川崎病の治療・管理基準の作成、学童心臓健診における川崎病心後遺症児発見の為にシステム作りなどの種々の提案を作成する際の参考にするために、断層心エコー検査を中心とする全国調査を施行した。